JAFRA NEWS
公益社団法人 日本鉄道広告協会 会報
Japan Association for Rail Advertising

8月号
Vol.55
2019年8月1日発行

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階
TEL：03-5791-1808　FAX：03-3443-1616　メールアドレス：information@j-jafra.jp
URL：http://j-jafra.jp/

巻頭レポート

「大阪梅田エリア」阪急デジタルサイネージの展開

株式会社 阪急アドエージェンシー
媒体局　交通媒体部　副部長
福本　智之

２０１２年10月、阪急において初めてとなる駅デジタルサイネージ「阪急デジタルサイネージ 百貨店前」（以下、「阪急デジタルサイネージ」は省略）を梅田駅に設置しました。当時の阪急梅田駅は、同年5月から、梅田阪急ビルの建て替えやうめきた先行開発区域プロジェクト等再開発が進む大阪梅田地区の「顔」にふさわしい洗練された統一感あふれるエリアとするためのリファイン工事に着手していました。

最初に設置した「百貨店前」はリファイン工事に先行して整備されたＪＲ高架下通路の南端に12面を設置、リファイン工事の竣工時には４媒体の設置を完了しました。その後もデジタルサイネージの増設を進め、現在、大阪・梅田エリアに８媒体、沿線に４媒体を設置しています。

関西では、２０２４年開業に向けたＩＲ構想や２０２５年に開催が決定している大阪万博を控えていることもあり、大阪・梅田エリアにおいては、２０１９年度以降も新しいデジタルサイネージの設置が進んでい

阪急デジタルサイネージ ４K・３階コンコース

阪急梅田駅ホームに直結するコンコースに、４K対応の84インチディスプレイを24面設置。
高解像度性能を活かした映像表現が特長。※DDOOH対応

くのではないかと考えます。おそらく、3～4年後には、大阪・梅田エリアを歩くと、どこを見てもデジタルサイネージがあるような状態になるのではないでしょうか。ただ、広告媒体としてのデジタルサイネージはすでに飽和状態にあるとも考えられる中、広告主様が「この媒体がいい！」と選んでいただけるような販売方法や設備独自の機能等、既存媒体への付加価値をつけていくことが今後の大きな課題と認識しています。

ダイナミックDOOH（DDOOH）の取り組み

OOH（屋外広告）は、通勤や通学といった日常生活における習慣的行動の動線上で展開されることから強制視認性のある広告媒体という大きな特徴をもっています。その分、広告を見る人が今いる「場所」やその周りの「状況（環境）」、その時の「気持ち」によって受け止め方も大きく変わる媒体でもあります。

外部データと連動して放映素材を変えていくことができる「ダイナミックDOOH」（以下、「DDOOH」）は、場所や曜日、時間によって広告を見る人の属性や状況が変わるOOH環境の中で、受け手側の「その時／その場所／その気持ち」に合わせて広告展開ができる進化版デジタルサイネージです。

デジタルサイネージの新たな活用事例としてDDOOHの実施件数が増加傾向にある中、デジタルサイネージを多く抱える阪急として、広告主様が媒体を選択される上での付加価値、媒体価値および稼働率の向上をめざし、このDDOOH導入に踏み切り今年度より阪急デジタルサイネージのラインナップに加えることとなりました。現在、「BIG MAN」ビジョンを含めた7媒体（梅田5媒体・沿線2媒体）でDDOOH対応が可能となり、阪急エリアに行けば「その時／その場所／その気持ち」に合ったタイムリーな広告をいつでも展開いただける、ご覧いただける環境を整えています。このDDOOHの導入は、将来のデジタルサイネージの運用展開に向けた大きな一歩を踏み出すものと考えています。

阪急デジタルサイネージ 阪急梅田グランドビジョン

阪急百貨店「阪急うめだ本店」前のコンコース上部壁面に設置。
遠くからでも高い視認性を誇る大型高輝度LEDディスプレイが特長。※DDOOH非対応

【阪急実施事例】

・7月1日（月）週
「百貨店前」
・広告主：江崎グリコ様
・内　容：「アイスの実」
　商品告知
＊気温、湿度、風の外部データをもとに、曜日、時間帯なども掛け合わせたコピーの出し分けを実施。

設備更新で、より魅力あるサイネージに

新しいデジタルサイネージの設置と並行して、既存媒体の設備更新工事を進めています。

2012年に阪急における初めての駅サイネージとして設置した「百貨店前」のディスプレイ更新工事を今年8月に実施し、ディスプレイサイズのインチアップと販売方法の改定を行います。この工事にともない7月末から8月末の1ヶ月間は販売を休止いたします。今後も、順次既存媒体のリニューアルを進め、媒体価値の向上をめざします。

ビル設備としての情報モニターを媒体化

新たな取り組みとして、ビルワーカー向けの情報発信モニターを広告媒体化し販売しています。

実例としまして、阪急阪神グループが管理する「梅田阪急ビル」「ハービスENT」「ハービスOSAKA」のオフィスタワー内に展開する「梅田オフィスチャンネル」を紹介します。

大阪・梅田エリアの好立地にあり、多くの優良企業にテナントとして入居いただいているこれらオフィスタワー内に、合計141面のデジタルサイネージを新たに設置し、広告の3棟同時配信を可能とした設備として2018年11月より販売を開始しています。エントランスやエレベーターホール等人が滞留する場所に設置し、エレベーターが来るまでの待ち時間にオフィスワーカーや来訪者向けの発信情報とあわせて広告の配信等を行っています。

今後の計画として、同じエリア内の他の阪急阪神グループのビル建物

オフィスビルデジタルサイネージ「梅田オフィスチャンネル」

阪急阪神グループが展開する「梅田阪急ビル」「ハービスENT」「ハービスOSAKA」のオフィスタワー内に計141面のサイネージを設置。オフィスワーカーを中心に反復訴求効果が期待できるメディア。※DDOOH非対応

にもモニターを新設し、面数を拡大していく予定です。

沿線駅における デジタルサイネージ展開

阪急では「百貨店前」を皮切りに、梅田駅を中心にデジタルサイネージの設置、展開を進めてきましたが、沿線駅へもデジタルサイネージの設置を進めています。

京都線烏丸駅に設置し、今年2月から販売放映をスタートさせた「京都からすまツーサイドビジョン」は、阪急として京都エリアで初となるデジタルサイネージで、階段見附に大型マルチビジョン1基を、その裏面に横型液晶ビジョン1基を設置し乗降車双方のお客様に視認いただける広告媒体となっています。販売放映開始以降、京都に密着したお客様を中心にたくさんのご利用をいただいています。

また、2018年11月に神戸線西宮北口駅改札外に開業した阪急西宮ガーデンズ ゲート館内コンコースに大型マルチビジョンを設置し、「阪急西宮ガーデンズ ゲート館ビジョン」として、今年2月から販売放映を開始しています。西日本最大級の商業施設である阪急西宮ガーデンズへの来館者を中心に、地域の方も利用される駅との連絡通路において、大画面での広告配信ができる設備として多くの皆さんの視認を得ています。

いずれのデジタルサイネージも、常にたくさんの人が行き交うエリアに設置しており、阪急沿線の情報発信設備として駅や商業施設の活性化にも役立っています。

阪急デジタルサイネージ　阪急西宮ガーデンズ ゲート館ビジョン

阪急西宮北口駅と、西日本最大級のショッピングセンター「阪急西宮ガーデンズ本館」をむすぶ、人通りの多い連絡通路に設置。※DDOOH非対応

広場

「グランドまでの小旅行。道の途中で。」

監事　山本　一広（公益社団法人日本広告審査機構）

母校である大学の体育会サッカー部の監督をしている。ボランティアで、土・日・休日だけの監督だが、それでも年間80日くらいはグランドに行く。チームは千葉県大学サッカー連盟に所属し、最近は1部と2部を行ったり来たりの成績になってしまっている。少子化の影響で大学は全入時代とも言われ、各校とも特色を出すのに躍起で、スポーツたとえばサッカーで特色を出そうと考える大学も少なくない。千葉県大学サッカー連盟でも一番選手数の多いチームは200人近い部員数を擁する。（日本で一番部員数が多い大学は、何と部員数が400名！）公式戦は年間20試合ほど。昨今は各大学が人工芝のグランドを持つことが多くなり、リーグ戦は県内全域に散らばる各大学グランドで行われる。また県内だけでなく、関東甲信越各地域のグランドでも大会や行事が定期的に実施される。

若いころは車でグランドに行くことが多かったが、3年ほど前に車を手放してしまったので、今は電車やバス、タクシーでグランドに向かっている。当然ながらサッカーのグランドのほとんどは交通の便の良い場所にはなく、電車で近くの駅まで行ってタクシーや車を借りてグランドに行くことになる。特急や新幹線を利用しても駅まで1時間半以上かかる場所も少なくなく、そんな時はちょっとした小旅行となる。電車まで時間があるときには駅の近くを少し巡ってみたりもする。その土地ならではの生活の様子が分かったり、思わぬ景色に出くわしたりしてちょっと豊かな気分になれる。サッカーという目的が無ければ、一生来なかっただろう場所で、すこしだけのんびりした気分を味わう。

山が近い

つい先日も大会があり群馬県の利根郡に行った（もちろん初めて）。最寄り駅はJR上越線の岩本駅。無人駅で電車は1時間に1本程度、駅前には道が走るだけで店もなんにもない。プラットフォームのすぐ向こう側は切り立った山になっていて山肌に土管のようなものが見えた。近づいてみるとなんと駅舎のすぐ裏脇に小さな水力発電所が建っていた。何故こんなところに発電所があるのか、どこに送電しているのか、駅が後から建ったのか発電所が先だったのかなど勝手に想像してみる。

岩本駅にて

若いころは忙しかったせいもあるが車で移動していた。確かに便利だったのだが、自宅を出てグランドに行き、自宅で車を降りる。移動はただの手段でしかなかった。電車を使うようになって思ってもない景色に出あったり、駅前を探索してみたり、少しだけ道の途中を楽しめるようになった。ちょっとした楽しみを見つけた感じがした。

この夏も茨城県波崎市、福島県那須塩原市、千葉県勝浦市等々に行く予定になっている。試合の結果が首尾よく、明るい気持ちで小旅行を楽しめればと願っている。

次回もお楽しみに。

2019年度定期総会を開催

6月25日（火）14時00分、ホテルメトロポリタン（池袋）において、多数の会員が出席し、2019年度定期総会を開催し、2018年度事業報告及び決算、理事の選任を審議した。

審議内容は以下のとおり。

第1号・第2号議案

2018年度事業報告及び決算報告については、加藤専務理事の説明と、山本一広監事代表の監査報告の後、挙手による採決の結果、委任状によるものを含め、定款第27条に基づく過半数の賛成により、本議案は提案通り議決された。

第3号議案

理事の選任

当協会の「理事の任期」は定款第16条1項の規定により就任後2年目の定期総会終結の時までとなっているが、2018年6月26日の定期総会終了後、8名の理事が人事異動等の事由により辞任を希望されているのでそれを了承し、新理事8名を選任し、任期は定款16条3項の規定により前任者の残任期間としたい。また、当協会の今木甚一郎会長（常勤役員）の退任にともなう、退職慰労金を、退職手当支給規定第1条2の規定により支給したいと加藤専務理事から説明があった。挙手による採決の結果、委任状によるものを含め、定款第27条に基づく過半数の賛成により、本案は提案通り議決され被選任者はその就任を承諾した。

なお、会長及び常任理事の役職については、定款第14条2項に基づき総会終了後、臨時理事会を開き選出したものである。

（役員一覧は10ページに）

監査報告をする山本一広監事

報告事項

2019年度事業計画

景気の不透明感が強まる中で迎えた2019年度ですが、我国においては、平成からその先の時代に移り変わるとともに、ラグビーワールドカップ2019日本大会が、全国12の都市で開催され、また、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けてのカウントダウンが始まります。さらに、2025年大阪万博の開催準備が本格的にスタートすることにもなるでしょう。広告業界全体としても、交通広告業界としても、これらのチャンスを活かしていかなければなりません。

広告業界では、昨年もインターネット広告が大きく伸長し、マスコミ四媒体が減少する中、交通広告は、ほぼ前年並みという状況で踏みとどまっていますが、経営環境がより厳しくなる中、クライアントからはよりシビアな目で、広告宣伝費の支出に対して効果が高く、効率の良い展開を求められます。

前述のような今年度の様々な動きを好機として捉え、話題を提起しやすいという鉄道広告の特性を最大限に発揮し、存在感を高める必要があります。新型車両導入に伴う車内ビジョンの増設、駅デジタルサイネージの拡大と高度化を始め、その他媒体の魅力度向上など、これまで以上の創意工夫につとめていかなければなりません。

当協会としては、鉄道広告の持つ公益性に一層の配慮をするとともに、ICTの急速な発展に対応し、鉄道広告の付加価値をより高めるなど、社会的ステータスの向上を目指し、会員各社のご理解とご協力を得て、取り組んでまいります。

具体的な事業計画については次ページ以降のとおりですが、主な公益事業として、環境や美観風致という観点から第13回地球温暖化防止キャンペーン、倫理という観点から

鉄道利用マナーUPキャンペーンを実施します。また、その他事業として、鉄道広告の技術開発の観点から、交通広告に応用可能な先端ICT技術情報の収集と共有化、アカウンタビリティ向上の観点から、交通広告共通指標推定システムの充実、調査研究の観点から、e-販促データシステムの改良と普及を、それぞれ主要課題として取り組むこととします。

1. 各委員会の主な活動目標

総務・財務委員会

・新規会員の入会慫慂
・支部活動活性化支援
・年次報告書の作成
・他広告団体との交流

総務・財務委員会
稲川一委員長

議案書のとおり、新規会員への入会慫慂、支部活動活性化支援、年次報告書の作成、他の広告団体との交流、以上を活動目標としています。以上今年度もよろしくお願いします。

倫理委員会

・倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握
・鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
・鉄道利用マナーUPキャンペーン実施
・広告倫理に関する事例研究の実施
・日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

倫理委員会
神田橋治委員長

社会基盤のひとつである鉄道広告は、社会的に影響力が大きく、また、関心が高いことから倫理性を保持することが大変重要になっています。倫理委員会では事業計画のとおり、今年度も5つの活動目標を設定しています。特に鉄道広告倫理綱領及び掲出基準に関する教育研修を各支部と連携して実施したいと考えています。また、昨年度諸般の事情により延期になりましたので、今後ともこの分野には引き続き力を入れていく必要があるかと思います。一方では、いわゆる中づりとか駅貼りといった紙物、貼物といったものも交通広告の事業費の中に占めるウエイトにはまだ大きなものがあります。車内とか駅構内といった実際の空間で多くの人々の目線に近いところで訴求し続ける力があるという強みを持っておりますし、スマホとの親和性も高いという調査結果も出ております。こちらの方にも力を注いで、なんとか減少傾向に歯止めを掛けたいものだと思います。平成から令和になりました今年度、国際情勢はまだ先行き不透明ですし、国内的にも消費税増税といったマイナス要素はあるわけですが、一方ではインバウンドの増加であるとか、9月からのラグビーワールドカップとか、そしていよいよ来年に向けてのカウントダウンが始まるとかプラス要素もあります。是非そういった変化をチャンスととらえながら、ご健闘を期待いたします。

今木会長挨拶

本日は大変お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。平素は当協会の運営に対しましてなにかとご理解とご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。昨年度の我が国経済はご承知の通り波乱万丈の経過をたどりましたが、日本の総広告費は7年連続のプラス成長でした。また、媒体別に見ますとインターネット広告が大きく伸びる中で4媒体は減少、そのような中で重要なことは我々の交通広告が久しぶりに対前年をクリアしたということです。これは車内ビジョン、駅サイネージといわゆるデジタル領域の拡大が大きく寄与したものと思います。世の中デジタル革命と言われておりますので、今後ともこの分野には引き続き力を入れていく必要があるかと思います。一方では、いわゆる中づりとか駅貼りといった紙物、貼物といったものも交通広告の事業費の中に占めるウエイトにはまだ大きなものがあります。車内とか駅構内といった実際の空間で多くの人々の目線に近いところで訴求し続ける力があるという強みを持っておりますし、スマホとの親和性も高いという調査結果も出ております。こちらの方にも力を注いで、なんとか減少傾向に歯止めを掛けたいものだと思います。平成から令和になりました今年度、国際情勢はまだ先行き不透明ですし、国内的にも消費税増税といったマイナス要素はあるわけですが、一方ではインバウンドの増加であるとか、9月からのラグビーワールドカップとか、そしていよいよ来年に向けてのカウントダウンが始まるとかプラス要素もあります。是非そういった変化をチャンスととらえながら、ご健闘を期待いたします。

今年度の会員各社の益々のご発展をお祈り申し上げますとともに、当協会に対する引き続きのご理解とご協力をお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。

挨拶をする今木会長

た鉄道利用マナーアップキャンペーン一声マナー始めようを国土交通省と共同で実施したいと考えています。会員各社のご理解ご協力の元進めてまいりますのでよろしくお願いします。

美観風致委員会

・環境委員会との共同による第13回地球温暖化防止キャンペーンの実施
・美観事例の収集と紹介
・美観風致に関する教育研修

美観風致委員会
滝久雄委員長代理
加藤専務理事

環境委員会と共同で第13回地球温暖化防止キャンペーンの実施をします。詳細は、報告事項の中で報告し、他は議案書のとおりです。

環境委員会

・環境保全への取り組み状況の実態把握
・「JAFRA環境方針」配布後の状況把握
・美観風致委員会との共同による第13回地球温暖化防止キャンペーンの実施

環境委員会
冨田栄次委員長

ご承知のように現在、印刷用紙をはじめ紙不足が起こっております。それにともなって価格も非常に高騰し、業界にでもその影響が出始めています。大手製紙メーカーが印刷用紙の需要の低迷から生産制限していたところに自然災害や或いは工場出荷の際のトラブルが相次ぎ、生産の落ち込み、4月ごろから本格的な紙不足状態に陥り、価格の高騰を招いていると聞いています。今回は世界的な森林資源の保護といった環境問題から発生したものではありませんが、今後委員会としてこの問題についても取り組んでいく課題の一つであると認識しています。今年度の委員会は、環境保全への取り組み状況の実態把握、「JAFRA環境方針」配布後の状況把握、美観風致委員会との共同による第13回地球温暖化防止キャンペーンの実施の3点を柱としてまいります。

安全委員会

・安全管理に関する調査研究の推進
・安全作業に関する教育研修の実施

安全委員会
西崎俊文委員長代理
加藤専務理事

安全管理に関する調査研究の推進、安全作業に関する教育研修実施について進めてまいります。

標準化委員会

・2019年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録、公開

標準化委員会
大塚尚司委員長

協会ホームページにも全国交通広告料金表を掲載しています。皆さまにご利用いただきありがとうございます。ご利用する中、使い勝手が悪いなど我々作成側には気が付かない点がありますので、ご要望がありましたら、ご連絡お願いします。他、議案書に記載のとおり、行ってまいりますのでよろしくお願いします。

人材育成委員会

・「交通広告ビジネス概論　2017」一部改訂版の発行
・鉄道広告実務研修の実施
・セミナー、シンポジウムの開催

人材育成委員会
肥後謙一委員長

交通広告の基本が体系的に記載されている、「交通広告ビジネス概論　2017」の一部改訂版を発行します。また、鉄道広告実務研修を支部ごとに実施するほか、新しい広告事例や企業の最新の広告戦略を知るために様々なセミナー、シンポジウムを開催しますのでよろしくお願いします。

技術開発委員会

・AIやセンサー技術の進展を活用した、交通広告の価値向上に寄与するコンテンツやフレキシブルな販売方法に関する情報収集と、効果的な取り組みの紹介
・スマートフォンと交通広告の効果的な連携事例の収集と水平展開
・OOH視認者測定のためのグローバルガイドライン等の考察と、交

通広告の価値向上に寄与する施策の紹介および実現に向けた課題の検証

技術開発委員会
山本章義委員長

深度化が進むＩＣＴ技術の活用、併せてリアルタイム情報の活用、凋落傾向の進む紙媒体のアカウンタビリティの向上という３つを追求するという観点から議案書のとおりＡＩやセンサー技術を活用した、交通広告の価値向上に寄与するコンテンツやフレキシブルな販売方法に関する情報収集と、効果的な取組みの収集と共有、スマートフォント交通広告の効果的な連携事例の収集と水平展開を進めます。また事務局を通じて、またアカウンタビリティ向上委員会とも連携して議論を進めていく必要あると思いますが、ＯＯＨ視認者測定のためのグローバルガイドライン等の考察と、交通広告の価値向上に寄与する施策の紹介および実現に向けた課題の検証という３つの目標と活動方針に沿って進めてまいります。

挙手をされる会員社の皆さま

調査研究委員会

・効率的なメディアプランニングに関する研究の促進
・ｅ-販促データシステムの改良と普及
・媒体活用事例の調査と紹介
・マーケティング〝講演会の開催

調査研究委員会
栗原圭一委員長

ｅ-販促データシステムの減価償却も終了しましたので、次に何をするかということをこれから検討してまいります。

業務近代化委員会

・業務近代化に関する課題の提言
・デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討

業務近代化委員会
宮澤由毅委員長代理
加藤専務理事

議案書のとおり、業務近代化に関する課題の提言、デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討を進めてまいります。

ＰＲ委員会

・「ＪＡＦＲＡ ＮＥＷＳ」の編集・発行の継続と、掲載内容の充実
・ホームページを活用した、情報発信の強化
・鉄道広告枠を活用した、各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトの開設
・関係する外部機関との連携強化

ＰＲ委員会
阿久津光志委員長代理
加藤専務理事

「ＪＡＦＲＡ ＮＥＷＳ」の編集・発行の継続と、掲載内容の充実、ホームページを活用した情報発信の強化、鉄道広告枠を活用した各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトの開設、関係する外部機関との連携強化を進めてまいります。

アカウンタビリティ向上委員会

・標準化委員会、調査研究委員会、業務近代化委員会と連携してアカウンタビリティ拡充・データ整備
・関東交通広告協議会、日本広告業協会と連携して調査実施、データ整備
・交通広告共通指標策定システム稼働と運用及びシステム利用会員の拡大

アカウンタビリティ向上委員会
大塚尚司委員長

交通広告共通指標の策定調査を行っていますが、車両メディアに関しましては９９００サンプルまで集まりました。この１、２年は駅メディアの調査に入っており、１１００サンプルまで集まり、一応データとして傾向値が出てくる状態になっています。11社会には大変お世話になっており、引き続き共同で調査を続けてま

いります。データについてＪＡＡで利用の仕方などの説明会をするべく日程の調整をしておりますので、クライアントに使っていただいて交通広告の出稿につなげていきたいと考えています、よろしくお願いします。

2. 各支部の主な活動目標

北海道支部

・支部総会・懇親会の開催：６月下旬
・媒体講演会の開催：８月
・媒体視察研修会の開催：10月
・交通広告勉強会の開催：12月
・新年懇親会の開催：２０２０年１月
・媒体連絡会の開催：不定期
・新規会員の入会慫慂（以降各支部共通）
・第13回地球温暖化防止キャンペーンの実施（以降各支部共通）
・鉄道利用マナーＵＰキャンペーンの実施（以降各支部共通）

北海道支部
幅口堅二支部長代理
加藤専務理事

北海道支部の活動につきましては、議案書に記載のとおり進めてまいります。

東北支部

・支部総会・懇親会の開催：12月中旬
・支部セミナー等の開催：12月中旬

東北支部
百々潤司支部長代理
加藤専務理事

東北支部の活動につきましては、議案書に記載のとおり進めてまいります。

首都圏支部

・鉄道広告実務研修の実施：９月下旬から10月上旬
・セミナーの開催：７月、11月、２０２０年３月の３回
・支部総会・懇親会の開催：７月８日ホテルメトロポリタン池袋
・地域間交流の促進

首都圏支部
原口宰支部長

今年度も、鉄道広告実務研修の実施を計画しています。また、セミナーを３回予定しており、主にクライアントの最新の広告戦略、或いは動向といったものを中心に講師を選択したいと考えております。支部総会・懇親会は例年のとおりです。引き続き地域間交流の促進についても進めてまいります。

中部支部

・支部総会・懇親会の開催：７月29日
・支部セミナーの開催：９月
・学生インターン・調査研究事業の実施：９月～２月
・媒体等視察研修の実施：９月

中部支部
阿久津光志支部長代理
加藤専務理事

７月29日に支部総会・懇親会、９月にセミナーを開催する予定です。引き続き学生インターン・調査研究事業を今年度も進めてまいります。

近畿・中国・北陸支部

・幹事会の開催：７月、２０２０年３月予定
・支部総会・懇親会の開催：７月
・支部セミナーの開催：７月
・交通広告実務研修会：９月
・業界諸団体との連携（各媒体社広告会・ＯＡＡＡ・関西交通広告協議会等）

近畿・中国・北陸支部
山本章義支部長

幹事会を７月と来年の３月の２回を予定しております。支部総会・懇親会の開催は７月に、それに併せて支部セミナーを予定しております。９月に交通広告実務研修会を外部よりセミナー講師をお招きして開催する予定です。業界諸団体ともよく連携しながら活動を進めてまいります。

四国支部

・支部総会・懇親会の開催：６月
・視察研修会の開催：10月
・支部会員交流会の開催：２０２０年２月

四国支部
山西弘泰支部長

支部総会・懇親会を６月に予定しております。内容はまだ最終確定していませんが、視察研修会を10月に開催します。インバウンド向けの情報基地として

の東南アジアエリアでの日本の鉄道系アパレルといった情報発信基地の視察の下調べをしています。２月には支部会員の交流会の開催を予定しています。

九州支部

・支部総会・懇親会の開催：８月
・支部セミナーの開催：８月
・支部運営会議の開催：７月、２０２０年３月
・西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携
・ＪＡＦＲＡ ＮＥＷＳへの掲載及び本部各委員会との連携強化

九州支部
小濵和彦支部長代理
加藤専務理事

総会・懇親会・セミナーは８月に開催予定です。以下、議案書のとおり進めますのでよろしくお願いいたします。

この他、２０１８年度予算、副支部長・委員長・副委員長の委嘱、第13回地球温暖化防止キャンペーン展開計画についての説明があり、以上をもって15時03分、２０１９年度定期総会は滞りなく終了した。

以上

なお、総会に先立ち５月28日に開催した第１回理事会及び、６月25日定期総会終了後に開催した臨時理事会において、次の項目が承認された。

（敬称略）

定期総会終了後に開催した臨時理事会

役員一覧

会長（１名）
*新井　良亮　公益社団法人 日本鉄道広告協会

会長代行副会長（１名）
原口　宰　㈱ジェイアール東日本企画

副会長（４名）
滝　久雄　㈱ＮＫＢ
間宮　泰三　協立広告㈱
肥後　謙一　㈱メトロアドエージェンシー
山本　章義　㈱ＪＲ西日本コミュニケーションズ

常任理事（10名）
阿久津 光志　㈱ジェイアール東海エージェンシー
稲川　一　㈱文宣
大塚　尚司　㈱オリコム
神田橋　治　㈱ＴＯＭＯＥ
木村　喜朗　㈱東急エージェンシー
栗原　圭一　㈱ムサシノ広告社
高成田　潔　小田急エージェンシー
冨田　栄次　㈱大阪オリコミ
*宮澤　由毅　㈱電通
渡辺　文雄　㈱日交西部本社

理事（23名）
石川　正裕　㈱電通名鉄コミュニケーションズ
*糸洲　美和　東京急行電鉄㈱
大津　英敏　多摩美術大学
表　輝幸　東日本旅客鉄道㈱
亀卦川　悟　㈱京急アドエンタープライズ
北郷　悟　東京藝術大学
小棚木 健司　小田急電鉄㈱
坂本　隆　㈳日本雑誌協会
柴田　裕子　近畿日本鉄道㈱
*嶌岡　智基　南海電気鉄道㈱
島津　勝一　北海道旅客鉄道㈱
*鈴木　一成　西武鉄道㈱
田中　里沙　㈱宣伝会議
谷口　智之　京阪電気鉄道㈱
*鶴岡　隆行　東京地下鉄㈱
中村　晃　㈱日交
松下　琢磨　九州旅客鉄道㈱
松藤　悟　西日本鉄道㈱
望月　敏弘　㈱春光社
*山下　信二　ＪＲ九州エージェンシー㈱
*山田　潤一　西日本旅客鉄道㈱
山西　弘泰　㈱ジェイアール四国企画
米田　龍司　㈱日本宣交社

専務理事（１名）
加藤　潔　公益社団法人 日本鉄道広告協会

監事（４名）
坂野　茂　㈱毎日広告社
清水　勇宏　㈱近宣
西崎　俊文　ＪＲ東日本メディア㈱
山本　一広　公益社団法人 日本広告審査機構

〈辞任〉８名
今木　甚一郎、石津　航、河田　祐治、廣木　成匡、南雲　俊通、阿部　晋治、小濵　和彦、橋本　修男

委員会

総務・財務委員会
委員長　稲川　一　㈱文宣
副委員長　中村　晃　㈱日交
副委員長　鈴木　浩之　㈱ジェイアール東日本企画

倫理委員会
委員長　神田橋　治　㈱TOMOE
副委員長　中馬　輝彦　キング鉄道広告㈱

美観風致委員会
委員長　滝　久雄　㈱NKB
副委員長　渡辺　文雄　㈱日交西部本社
副委員長　田中　里沙　㈱宣伝会議

安全委員会
委員長　西崎　俊文　JR東日本メディア㈱
副委員長　*城戸　正幸　㈱アド近鉄

環境委員会
委員長　冨田　栄次　㈱大阪オリコミ
副委員長　田中　幸夫　㈱大阪オリコミ

標準化委員会
委員長　大塚　尚司　㈱オリコム
副委員長　成田　和雄　協立広告㈱

人材育成委員会
委員長　肥後　謙一　㈱メトロアドエージェンシー
副委員長　土屋　政文　㈱電通名鉄コミュニケーションズ
副委員長　古川　義夫　㈱ジェイアール東日本企画

技術開発委員会
委員長　山本　章義　㈱JR西日本コミュニケーションズ
副委員長　望月　敏弘　㈱春光社
副委員長　山本　孝　㈱ジェイアール東日本企画
副委員長　菊井　健一　㈱東急エージェンシー
副委員長　木村　和昭　㈱JR西日本コミュニケーションズ

調査研究委員会
委員長　栗原　圭一　㈱ムサシノ広告社
副委員長　後藤　真哉　㈱小田急エージェンシー
副委員長　宮澤　由毅　㈱電通

業務近代化委員会
委員長　宮澤　由毅　㈱電通
副委員長　山西　弘泰　㈱ジェイアール四国企画

PR委員会
委員長　阿久津　光志　㈱ジェイアール東海エージェンシー
副委員長　田中　里沙　㈱宣伝会議
副委員長　宮澤　由毅　㈱電通
副委員長　*水野　勝太　㈱博報堂DYアウトドア
副委員長　栗原　圭一　㈱ムサシノ広告社

アカウンタビリティ向上委員会
委員長　大塚　尚司　㈱オリコム

支部

北海道支部
支部長　*森下　昌　㈱北海道ジェイ・アール・エージェンシー
副支部長　竹谷　英一　㈱交通新聞社 北海道支社

東北支部
支部長　百々　潤司　㈱ジェイアール東日本企画 仙台支店
副支部長　大仁田　智　㈱近宣 仙台支社

首都圏支部
支部長　原口　宰　㈱ジェイアール東日本企画
副支部長　滝　久雄　㈱NKB

中部支部
支部長　阿久津　光志　㈱ジェイアール東海エージェンシー
副支部長　石川　正裕　㈱電通名鉄コミュニケーションズ

近畿・北陸・中国支部
支部長　山本　章義　㈱JR西日本コミュニケーションズ
副支部長　冨田　栄次　㈱大阪オリコミ

四国支部
支部長　山西　弘泰　㈱ジェイアール四国企画
副支部長　*西村　政夫　㈱アドビジョン

九州支部
支部長　*山下　信二　JR九州エージェンシー㈱
副支部長　渡辺　文雄　㈱日交西部本社
副支部長　小野　哲也　㈱西鉄エージェンシー

（2019年6月25日　*は新任）

●セミナー

定期総会終了後、セミナーを開催した。㈱博報堂ＤＹアウトドアの三浦暁氏を講師にお招きし、「ＯＯＨのグローバルトレンドと交通広告業界の今後」という演題でお話しいただきました。

昨今の海外におけるデジタル化の話、さらに国内でもこれからおしよせるデジタル化の波に溺れることなく、交通広告は今後どうして行くかなど大変示唆に富んだ内容で、多くの方が熱心にメモを取りながら聴講されていました。

満員のセミナー会場

●講師プロフィール

三浦暁氏

株式会社 博報堂 DY アウトドア
デジタルプロデュース部　部長

デジタル系広告会社を経て、2008 年 4 月博報堂 DY メディアパートナーズ中途入社。
専門領域は、マーケティング・サイエンス、データサイエンス。
前職では、デジタルマーケティングの戦略立案、運用、解析業務に従事。
博報堂 DY メディアパートナーズに入社以降は、システム開発に加え、デジタル領域を含む統合的なメディア投資対効果の分析業務及び、コンサルティング業務に従事。
クライアントの ROI マネジメントを支援するソリューション開発を指揮し、数々の大手クライアントへ導入。
2017 年よりアウトドアメディア領域のプラニング基盤整備・プロダクト開発を担当し、現在に至る。

●懇親会

セミナー終了後、多数の皆さまに出席いただき懇親会を開催しました。まず、新井良亮新会長が挨拶、お忙しい中ご来席いただいた来賓を代表して、国土交通省鉄道局　鉄道サービス政策室長　上手研治氏、東日本旅客鉄道株式会社　常務取締役　事業創造本部長の　新井健一郎氏より、ご挨拶をいただきました。

新井良亮会長挨拶

多くの皆さまにこの協会に参加していただいておりますが、なかなか厳しい経済情勢、地域でそれぞれ果たす役割が非常に複雑、多岐に渡っているのが現状だと思います。その中で広告業界そのものがどの方向に進んでいくのか、更に成長し発展し続けるためにどのような努力すればいいのか、これからも様々な取り組みをしていきたいと思います。２０１９年は令和へと時代も変わり、消費税もアップする予定ですし、２０２０東京オリンピック・パラリンピック開催もせまり、イベントが目白押しです。一方、一大イベントが終わった後の経済情勢がどうなるかと厳しい一面もささやかれておりますので、皆さまと力を合わせ、共に勉強しながら、競争と協調を共通の認識とし取組んでまいりたいという非常に大事な時期に入っていこうと思います。ビジネスとは広告業界だけではなく、それぞれの地域や企業なりの力を合わせ、情報を出し合いながら解決し更には、構造改革に積極的に取組まなければならない時期にあります。是非皆様と一緒に力を合わせ公益社団法人の役目もしっかり果たしていきたいと考えておりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

懇親会で挨拶する新井良亮新会長

国土交通省鉄道局
鉄道サービス政策室長　上手研治氏

国土交通省では、ＪＡＦＲＡをはじめ、鉄道事業者の皆さまと連携し、駅ホームでの声かけ見守りキャンペーンにとりくんでいます。このキャンペーンの実施にあたり、皆さまに

国土交通省鉄道局　上手研治氏

多大なご協力をいただき深く感謝しております。近年はデジタルサイネージの普及など鉄道広告の技術的発展には目を見張るものがあり、鉄道広告に期待される社会的役割も広がって来ていると思います。昨年、多くの災害に見舞われ、鉄道駅、車内において災害の状況、鉄道の運行情報について情報提供をどう充実させていくのかが喫緊の課題となったところです。実際に昨年ある事業社では、駅構内のデジタルサイネージを緊急時ということで、通常時の広告を一時的に切り替え、災害状況、鉄道の運行情報を発信するということで非常に社会的に大きな役割をはたすという事例もありました。こういった事例を踏まえ、鉄道広告の可能性、社会的な役割もこれからますます広がって行くと感じています。引き続き鉄道広告の公益性の保持に向けた取組みをぜひとも進めていただければと思います。

東日本旅客鉄道株式会社
常務取締役　事業創造本部長
新井健一郎氏

東日本旅客鉄道　新井健一郎氏

今年は既に様々な諸行事、天皇陛下の即位、改元もあり、10連休というかつてない連休などがありました。ＪＲは、鉄道インフラを持っているわけですが、最近は外国人の方が増えており、輸送のトラブルがあった時いかに情報提供するかということが大きな課題になっております。普段は広告を流していても、いざという時にはきちんと外国人のお客様にも情報が伝わるように取り組まなければならないと思っております。お客様に対するきちんとした情報の伝達や、色々な広告価値も含めたレベルアップは大きな課題ですので、更に力を入れて進めていきたいと思っております。最大のターミナルである新宿駅の広告のデジタル化を進めてまいりますし、Ｅ２３５系というデジタルサイネージを使った新車両を投入している山手線も、来年の春には全て新しい車両に置き換わりますので、新しいサイネージを使った、ネットワークとして世の中に色々な発信をしていければと思っています。会員の皆さまにもご理解の上、更にまた一つ上のレベルの広告のあり方を一緒になって考えていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

乾杯の発声をする原口宰副会長

原口宰副会長の、
「日本の広告費で交通広告は久しぶりに対前年１００％を超えました

中締めの挨拶をする滝久雄副会長

が、１００％を超えている媒体はインターネットと交通広告しかありません。わずかではありますが、上向きになったということが今日お集まりの皆様の大変なご努力の上にあるということは間違いありません。ですが、大事なのは今年です。確実に支持される媒体であり続けられるかどうかという正念場に差し掛かっていると思います。今年も１００％を超えようということと、クライアントから選ばれる交通媒体をもう１回作り直そうというこの２つを合言葉に、新井新会長のもとＪＡＦＲＡもがんばって行きましょう。頑張って行きたいと思います。よろしくお願いします。」
という乾杯の発声のあと、会員に皆さまは、和やかに歓談し親睦を深められた。

第13回「地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン」を開催！

エキからエコ。

美しい自然の色と野生動物のアートから。
明日の地球環境を考える夏。

今年の夏休みもエキからエコ。を考えましょう

公益社団法人日本鉄道広告協会（会長：新井良亮、東京都渋谷区）は、今年で13回目となる「地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン」を実施いたします。

このキャンペーンは、ご協力をいただいた全国のＪＲ、私鉄、地下鉄36社局の駅及び車両内のポスター枠を利用し、ポスターとデジタルサイネージで展開するものです。

テーマカラー「茜色で太陽を」「深緑色で森を」「群青色で海を」「黄土色で大地を」の４色で構成されたポスターのビジュアルとテーマポスターのメッセージは、このキャンペーンにご賛同をくださる現代を代表する著名芸術家及びクリエイターの方々より、今年もボランティアで提供いただいています。

美しい自然の色と野生動物のアートから。明日の地球環境を考える夏。として、現在、世界で起きている異常気象や、激しいゲリラ豪雨、長期間にわたる猛暑など、あらためて地球の温暖化や我々を取り巻く環境について家族や仲間同士で考えていただく機会になればと思います。

今年で13年目を迎え、盛夏は４色のエコカラーのポスターが駅や電車では定番の風景になってきたのではないでしょうか。

ビジュアルにこめたメッセージは、ＪＡＦＲＡホームページの特設サイトでご覧いただけます。今年は特設サイトも一新、「エキからエコ」、「エキからアート」として、鉄道各社局の環境対策、昨年のキャンペーンの様子、これまでの作品を閲覧できるアーカイブス、駅で目にすることのできるパブリックアート、交通に関する博物館やアクティビティなども紹介しています。こちらへも、ぜひアクセスください。
https://www.j-jafra.jp/eco/index.html

テーマポスター

〈キャンペーンの概要〉

1．タイトル

第13回地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン

2．全体テーマ

「エキからエコ。美しい自然の色と野生動物のアートから。明日の地球環境を考える夏。」

3. ポスターテーマ
美しい環境と野生生物

4. 実施期間
2019年8月1日(木)～
8月31日(土)

5. ポスター種類
駅ポスターB0×4、B1×5種類
車内ポスターB3×4種類
駅デジタルサイネージポスター

6. 制作協力
ビジュアル提供：
宮田亮平
金工家／東京藝術大学名誉教授
「シュプリンゲン」
大津英敏
洋画家／多摩美術大学名誉教授
「くつろぎのとき」
手塚雄二
日本画家／東京藝術大学教授
「不忍」（部分）《所蔵足立美術館》
日比野克彦
アーティスト／東京藝術大学教授
「窓を横切るコンドル」
アートディレクター：蝦名龍郎
コピーライター：マキプロ
根岸礼子

7. 主催
公益社団法人日本鉄道広告協会

8. 協賛
一般財団法人日本宝くじ協会

9. 後援
環境省、国土交通省

10. 協力
Osaka Metro、小田急電鉄㈱、九州旅客鉄道㈱、京都市交通局、近畿日本鉄道㈱、京王電鉄㈱、京成電鉄㈱、京阪電気鉄道㈱、京浜急行電鉄㈱、神戸市交通局、埼玉高速鉄道㈱、相模鉄道㈱、札幌市交通局、山陽電気鉄道㈱、四国旅客鉄道㈱、首都圏新都市鉄道㈱、西武鉄道㈱、東海旅客鉄道㈱、東京急行電鉄㈱、東京地下鉄㈱、東京都交通局、東京モノレール㈱、東京臨海高速鉄道㈱、東武鉄道㈱、東葉高速鉄道㈱、名古屋市交通局、名古屋鉄道㈱、南海電気鉄道㈱、西日本鉄道㈱、西日本旅客鉄道㈱、阪急電鉄㈱、阪神電気鉄道㈱、東日本旅客鉄道㈱、北海道旅客鉄道㈱、横浜高速鉄道㈱、横浜市交通局
（36社局、五十音順）

宮田亮平「シュプリンゲン」

日比野克彦「窓を横切るコンドル」

手塚雄二「不忍」

大津英敏「くつろぎのとき」

委員会便り

調査研究委員会

JAFRA ADS（e-販促データシステム）の講習会を開催しました

調査研究委員会（栗原圭一委員長）では、e-販促編集委員会主催JAFRA ADS「Station AD Planner（SAP）」「Train AD Planner（TAP）」の講習会を、東京と大阪で開催いたしました。今回は、活用方法のヒントになるような情報を中心とした講習内容で、新入社員や日頃の業務に使用されている方の参加も。

昨年も好評いただいたe-販促会員以外の方でも、会員と同レベルにアクセス可能な「お試しキャンペーン」も実施、より多くの皆様にも体験いただける機会を設けました。（7月31日までの期間限定キャンペーンのため、現在サービスは終了）

多くの皆さまに体験していただくことで、e-販促データシステムをご利用いただけるようになればと考えております。

東京会場

【東京会場】
ジェイアール東日本企画大会議室
6月11日（火）14時00分～15時30分
参加者27社 66名

大阪会場

【大阪会場】
JR西日本コミュニケーションズ会議室
6月13日（木）14時00分～15時30分
参加者23社 46名

総務・財務委員会

2018年度年次報告書を発行

総務・財務委員会（稲川一委員長）では、JAFRAの2018年度1年間の活動成果を記録としてまとめた年次報告書を、定期総会に併せて発行しました。JAFRAの活動報告、広告業界の動向、第12回地球温暖化防止キャンペーン、交通広告共通指標プロジェクトからのプレスリリースなどを掲載しています。

2019年6月25日発行
A4サイズ　96ページ

編集後記

海外からの観光客が、新宿の雑踏の中でスマホをかざして写真を撮っている風景はよくあるのですが、最近は地面に向かってスマホをかざしている人も多いです。ご当地マンホールのふたがお目当てとのことでした。ムダではないかという声もあるようですが、そこの名物が分かるので、個人的には好きです。

皆さまが近くで見た「エキからエコ。」の写真お待ちしています。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。 information@j-jafra.jp

●次号Vol.56は10月1日発行予定です。お楽しみに。

●会員社の代表者が
変更になった場合など、
変更届はホームページ
（http://j-jafra.jp）
の「各種届出書類」に
用意してございますので、ご記入
の上、事務局宛にお送り下さい。
ご協力お願いします。